

科目名	医用画像基礎読影学			分野・必選別・単位数	共通科目	必修	2単位
担当教員	◎教授 古井 滋 教授 岡本孝英 准教授 太田 樹 講師 横塚記代			配当コース	診療放射線コース 医学物理士コース	科目ナンバー	T3A104
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要	医療の現場が求める適正で精細な画像を診療放射線技師が作成、提供するために、画像解剖学や病態学の知識を含めて、読影の基礎を学ぶことは重要なことである。 そこで日常診療の読影を行っている医師の下で、読影の基礎、身体各部位の臨床における読影に関する事項、並びにこれらを通しての病態における適正なポジショニング、撮影条件、画像処理などを学修し、診療放射線技師として適正な画像作成法を修得する。						
授業の到達目標	①基本的な症例の画像に関して説明できる。 ②画像の質に関して正しく評価できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	古井 滋	教授	各放射線診断装置について説明できる。			
	2	古井 滋	教授	脳神経の読影ポイントについて説明できる。			
	3	古井 滋	教授	頭頸部の正常画像解剖、側頭骨の疾患、眼科の疾患について説明できる。			
	4	古井 滋	教授	鼻・副鼻腔疾患、咽頭喉頭疾患、唾液腺疾患、甲状腺疾患について説明できる。			
	5	古井 滋	教授	呼吸器の正常画像解剖、肺がん、肺感染症、無気肺について説明できる。			
	6	古井 滋	教授	縦隔疾患、循環器の奇形、後天性心疾患、動脈静脈疾患について説明できる。			
	7	横塚 記代	講師	乳腺の正常画像解剖、乳がんについて説明できる。			
	8	岡本 孝英	教授	消化器の正常画像解剖、食道疾患、胃潰瘍、胃がんについて説明できる。			
	9	岡本 孝英	教授	大腸がんとポリープ、炎症性腸疾患、肝臓・胆のう・膵臓疾患について説明できる。			
	10	太田 樹	准教授	泌尿器の正常画像解剖、尿路結石、水腎症について説明できる。			
	11	太田 樹	准教授	腎がん、副腎疾患、前立腺疾患について説明できる。			
	12	横塚 記代	講師	婦人科の正常画像解剖、子宮の疾患、卵巣疾患、産科領域について説明できる。			
	13	岡本 孝英	教授	骨軟部の正常画像解剖、骨軟部腫瘍、外傷、関節炎について説明できる。			
	14	岡本 孝英	教授	脊椎・脊髄の正常画像解剖、腫瘍、外傷、変性疾患について説明できる。			
	15	岡本 孝英	教授	小児の正常画像解剖、各臓器の疾患について説明できる。			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	該当期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	土屋一洋監修 画像診断マスターノート メジカルビュー社						
参考書	適宜、指示する。						
成績評価の方法および基準	レポート20%、授業内課題80%						
その他履修上の注意事項							